平成26年５月14日

各　位

会 社 名　アストマックス株式会社
代表者名　代表取締役社長　本多 弘明
（JASDAQ スタンダード・コード 7162）
問合せ先　常務取締役　　小幡　健太郎
電話　　03－5447－8400

# 平成26年３月期連結業績と平成25年３月期連結業績との差異および繰延税金資産の計上に関するお知らせ

平成26年３月期（平成25年４月１日～平成26年３月31日）と平成25年３月期（平成24年４月１日～平成25年３月31日）の業績に差異が生じましたのでお知らせいたします。

なお、平成26年３月期における繰延税金資産の計上につきまして、併せてお知らせいたします。

また、当社は、平成24年10月１日に単独株式移転によりアストマックス・トレーディング株式会社（旧商号アストマックス株式会社。以下、ASTRA社という。）の完全親会社として設立されました。従い、当社の第１期事業年度は平成24年10月１日から平成25年３月31日までになりますが、平成25年３月期の連結会計年度はASTRA社の連結計算書類を引き継いで作成しております。

記

１．平成26年３月期連結業績と平成25年３月期連結業績との差異

（単位：百万円、単位未満切捨て）

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|---|---|---|---|---|
| 平成26年３月期（実績値）（A） | 2,619 | △70 | △86 | △115 |
| 平成25年３月期（実績値）（B） | 1,925 | 32 | 6 | △4 |
| 増減額＜(A)-(B)＞ | 693 | △102 | △93 | △110 |
| 増減率（%） | 36.0 | － | － | － |

（注）１．当社企業グループの主たる事業であるアセット・マネジメント事業及び自己勘定投資事業は、業績が経済情勢や市場環境によって大きな影響を受けるため、業績予想が困難であります。そこで、業績予想の開示に代えて営業収益、経常利益、運用資産残高等の月次実績を別途開示することとしております。
２．上記の業績見通しにつきましては、現時点で当社企業グループが合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は当該数値と異なる可能性があります。

２．連結業績の差異の説明

平成 26 年３月期の主な収益・費用は以下のとおりです。

（営業収益）

平成 24 年８月１日付で投資運用業等を営むマネックス・オルタナティブ・インベストメンツ株式会社を、また平成 24 年 12 月 28 日付で投信投資顧問会社であるＩＴＣインベストメント・パートナーズ株式会社（以下、IIP 社）を子会社化し、平成 25 年４月１日付で組織統合したことからアセット・

マネジメント事業（*）にかかる収益は928百万円（前年同期比209百万円（29.2%）の増加）となりました。また、自己勘定投資事業にかかる収益は、従来から行っているディーリング事業に加え、新規事業として再生可能エネルギー関連事業に着手したことから1,690百万円（前年同期比483百万円（40.1%）の増加）となりました。

（営業費用）

再生可能エネルギー関連事業において、太陽光発電設備の一部売却を行ったことから、外注工事費等の費用が発生し、営業費用は2,689百万円（前年同期比796百万円（42.0%）の増加）となりました。

（特別損益）

特別利益は、新株予約権戻入益１百万円、持分変動利益１百万円等により３百万円となりました。特別損失は、組織統合にかかる移転費用７百万円、投資有価証券評価損９百万円、投資有価証券清算損１百万円、特別退職金19百万円等により、39百万円となりました。これにより、当連結会計年度の特別損益は、35百万円の損失となりました。

（*）アセット・マネジメント事業：平成25年３月期第３四半期までは「投資顧問事業」と称していましたが、平成24年12月28日付で投信投資顧問会社であるIIP社を子会社化したことから名称を改めております。

３．繰延税金資産の計上について

当社企業グループは、今後の業績動向等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、平成26年３月期において、法人税等調整額を△14百万円計上いたしました。

以上